

令和2年度 第5回高知市高齢者保健福祉計画推進協議会 議事録

日時：令和3年3月2日(火) 18:30～19:30

場所：本庁舎6階 611・612・613

(司会：高齢者支援課 松村課長補佐)

それでは定刻となりましたので、令和2年度第5回高知市高齢者保健福祉計画推進協議会を始めさせていただきます。本日は年度末に向けてのご多用の中、本推進協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。私は高齢者支援課の松村と申します。議事に入りますまでの進行をさせていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。本日の推進協議会ですが、委員名簿の11番中本委員さんは別の会がございまして若干遅れるということでの連絡を受けております。また、新型コロナウイルス感染症対策の一環といたしまして一部ウェブ会議を導入して審議を進めてまいります。本日ウェブでご参加いただきますのは川田委員、矢野委員となっております。会場のスクリーンに会場の様子と川田委員、矢野委員を映させていただきます進行してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

ご承知の方もいらっしゃるかもしれませんが、本日3名の新型コロナウイルス感染者が発生しております。事務局といたしましては感染防止に配慮した運営に取り組んで参りたいと考えておりますので、当初20時30分までの開催を予定しておりましたが19時30分を目途といたしまして協議会を終了するように事務局からもポイントを絞って説明をさせていただきますので、委員の皆様におかれましても円滑な進行にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

続きまして、本日使用する資料の確認をさせていただきます。事前にお送りさせていただいております資料といたしまして、本日の推進協議会の次第、令和2年度第5回高知市高齢者保健福祉計画推進協議会資料。別紙資料といたしまして高知市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画（令和3年度～5年度）原案。また当日資料といたしまして、お席のほうに配付しております資料といたしまして、令和2年度第5回高知市高齢者保健福祉計画推進協議会当日配付資料。それとカラーの小冊子でございます、ちいきぐるみの支え合いづくりと書かれております高知市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画（令和3年度～5年度）概要版案。以上が本日の資料となっております。お手元に資料が足りない方はいらっしゃいませんか。

本日の協議会は、まず事務局からパブリック・コメントの結果についてご報告、ご説明させていただきます、その後次期計画原案、概要版についてご説明させていただく予定としております。

続きまして、注意事項となります。この推進協議会は情報公開の対象となっておりますので、議事録を作成する関係上、ご発言の際にはまずお名前をおっしゃっていただいて、その後にご発言をお願いいたします。また録音の関係上必ずマイクを通してのご発言をお願いいたします。なお、先ほども申し上げました、本日はウェブ会議を一部導入しておりますのでご発言いただく際はゆっくりお話しいただくようお願いいたします。それではここからは安田会長に進行をお願いし、議事に入りたいと思います。安田会長、どうぞ宜しくお願いいたします。

(安田会長)

皆さんこんばんは。この高知市高齢者保健福祉計画推進協議会も本日第5回で計画第8期の計画が正式に決まると思っておりますが、速やかに1時間を目安に終わらないといけませんので早速報告事項に移らせていただきます。まず、報告事項の(1)パブリック・コメント結果について事務局から説明をお願いします。

(介護保険課 戸田係長)

介護保険課戸田と申します。よろしくお願ひします。座って失礼いたします。私のほうからは本計画に対するパブリック・コメントの募集結果とそのご意見の内容、それから本市の考え方につきましてご説明いたします。資料のほうは令和2年度第5回高知市高齢者保健福祉計画推進協議会資料と書かれているホチキス留めの資料がございますけれども、その5ページをお開きください。

今回の高知市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画（令和3年度～5年度）の案に対するパブリック・コメントの結果についてご説明いたします。今回のパブリック・コメントの募集期間は1月27日水曜日から2月16日火曜日までということで募集をしましたところ、意見としていただきましたのは1名の方から1件のご意見を頂いております。提出期限を過ぎた提出が1件ありましたがこれは対象外ということにさせていただいております。

それでは具体的な中身をご説明いたします。下の四角で囲んでいる表のところの向かって左をご覧ください。こちらが頂いた意見の内容となっております。読み上げて説明をいたします。

多様なニーズに対応できるマネジメント体制についてということで、介護保険制度と共に障害者総合支援法によるマネジメントができる体制が必要であるというご意見です。理由といたしましては、「計画案の中で住民の抱えている課題が複雑かつ多様化していることが多々指摘されている。老計10号に縛られた介護保険制度によるサービスだけではこの複雑な地域ニーズには対応できない」。ここで老計10号という言葉が出ておりますので、これについて少し説明をさせていただきます。老計10号とは平成12年の3月に厚生労働省の老健局が発出した通知のことを指しております。この内容といたしましては、介護保険のサービスの種類の一つである訪問介護、ホームヘルプサービスの具体的なサービス行為を例示した内容となっております。この通知には、介護保険の対象となる訪問介護のサービスのうち、身体介護であったりとか生活援助であったりとかそういった内容が書かれておまして、今現在のこの通知は、効力は継続をしております。つまりここに示されているサービス行為の内容以外は介護保険の対象とならないということになるため、それでは多様なニーズを抱える利用者に対応しきれないのではないかというご意見だというふうに解釈をしております。それではすみません元の資料に戻っていただきまして、続きを読み上げます。「障害者総合支援法による支援がスムーズに出来得る体制が必要である」ということです。「例えば介護保険制度では移動支援、情報保障支援が貧弱である。行動援護や同行援護支援、意思疎通支援などの組み合わせ、また福祉有償運送や読書支援ボランティアサービスなどインフォーマルなサービスのマネジメントや立ち上げが可能になる仕組みが望まれる。それが、地域防災力につながる。」というご意見を頂いております。

向かって右の本市の考え方でございますが、介護や障害の制度や地域の社会資源を含めたマネジメントにつきましては、介護保険の仕組みの中でケアマネジャー、介護支援専門員の役割として位置付けがされております。関係課とも連携をいたしまして個別の案件につきましては対応をさせていただいているところでございます。今後も計画の基本理念である「ちいきぐるみの支え合いづくり」の取組を進めていくなかで、多様なサービスが必要な利用者へのマネジメントが適切に行えるよう、ケアマネジャーへの情報発信や、資質向上のための研修等に取り組んでまいりたいというところです。

なお、このパブリック・コメントによる本計画の修正はございません。私からの説明は以上です。ありがとうございました。

(安田会長)

ただいま事務局から説明があった、1件のパブリック・コメントに対する内容についての説明でしたが何か委員の皆様ご意見ございますか。よろしいでしょうか。よろしいですかね、中屋委員どうぞ。

(中屋委員)

身体障害者連合会の中屋です。ここに書かれているように、僕の、噂に聞くというか情報で聞く限りは、学生の頃から今まで障害の相談支援員っていう方に相談をして対処を行っていた。で、65歳になった途端にケアマネジャーさんをお願いするようになる。大体最近は両方の資格というか経験のある方というのがだんだん増えては来ているんですけども、聞くだけの話によると実際どうかはよくわかりませんが、障害のサービスのことをあまりご理解されてないマネジャーさんも結構いらっしゃるというふうに噂を聞きます。未だに計画している中では障害当事者はそういうふうに意味合いを持ちにくいっていうのがあるので益々こうもっと啓発していただければなというふうに思います。

(安田会長)

今のご意見について、ご要望といいますか何か事務局、回答、コメントありますか。よろしいですか。

(介護保険課 入木課長)

介護保険課の入木でございます。ご意見ありがとうございます。ご意見のとおり制度が多岐にわたっておりますので、ケアマネジャー一人で全てのサービスを熟知して適切なマネジメントを行うっていうにはやっぱりケアマネジャーの中にも経験年数の差っていうのもございますので、そういったところをやはり行政としてはサポートしていく必要があると考えておりますので、ここにも書いておりますように情報提供、情報が発信できるようなアナウンスしたり、それから研修とかに力を入れてできるだけ資質の向上というところに努めたいと考えております。以上です。

(安田会長)

ありがとうございます。いいですか他の委員の方このことに関連してでもいいです。はい、ケアマネジャーさん高岡委員さん。

(高岡委員)

高知市居宅介護支援事業所協議会の高岡です。ケアマネジャーの立場としては、障害の認定を受けているだけの方のマネジメントっていうのは障害のほうの相談支援事業所、相談支援従事者の方がマネジメントすると思うんですが、私のほうは介護保険の認定を受けてかつ障害者手帳とかをお持ちの方のマネジメントを複合的に行うというような立場にはなろうかとは思いますが。その中で中屋委員がおっしゃられたように、介護保険のマネジメントだけでなく障害のほうとか多方向に通ずるマネジメントであったりとか多様な社会資源を活用したケアマネジメントを実践する必要があると思うんですが入木課長がおっしゃられたように、実際そこら辺の活用がうまくできてないような実態もあって、中には相談支援従事者の研修を受けたケアマネジャーであったりとか、障害者の支援を一緒に行ってるケアマネジャーもいるんですが、そこらあたりの研修っていうのが当協議会でもまだ取り組めてないような実状もあって、ケアマネ個々に力量というか資源の活用についてばらつきがあるのも実状かと思えます。協議会のほうでも今後そういったことも視野に入れて研修等力を入れていきたいと思えます。以上です。

(安田会長)

ご発言ありがとうございます。委員の方よろしいでしょうか。また第8期の計画の進捗管理のところでも折に触れてこのご指摘の点について、また皆様からご意見を頂いてより良くなるように進めていけばいいかと思えますが、よろしいですかね。

一点確認を事務局にいたしますが、提出期限を過ぎた提出が1件あって対象外となっておりますが、これは対象外というのは期限が対象外ということではなくて内容が対象外というそういうことなんでしょうか。対象外という言葉があつて。かまわない範囲で説明していただけますか。

(健康福祉総務課 大黒主任)

健康福祉総務課大黒です。今回対象外とさせていただいた1件につきましては締切日を過ぎてご提出がありましたので対象外とさせていただいております。なお内容につきましても県にパブリック・コメントを出したい内容ということで後日確認をさせていただきましたので県のほうのパブリック・コメントのご案内をさせていただいております。

(安田会長)

分かりました。よろしいでしょうか。それでは次の報告事項(2)高知市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画(令和3年度～5年度)の原案についての事務局からの報告です。お願いします。

(健康福祉総務課 大黒主任)

健康福祉総務課大黒です。着座にて失礼します。事前にお配りさせていただきました、計画原案に関しまして、本日机上配付をさせていただいております、当日配付資料のなかで数値が少し間違っておりました点が2点ございましたので、当日配付資料のなかに差し替え分ということで入れさせていただいております。軽微な修正もございましたが、この2点につきまして本日はご説明をさせていただきます。

当日配付資料を表紙一枚めくっていただきたいと思います。第2章の第7期の計画の実績におきまして計画原案では22ページに相当するところになりますが、指導監査等の効果的な実施ということを取組として掲げておりました。その中で対象事業所への実地調査実施率が7期の実績の中で令和2年度、当初77.5%と記載しておりましたが少し計算を間違っておりましたので修正いたしまして、77.8%が正しい数値となっておりますので差し替えをさせていただきます。

続きまして、次のページから126、127ページにつきましては同じ内容の修正となっております。介護保険料を第8期基準額の算出をさせていただいて、10段階に金額の設定をそれぞれさせていただいております。その中で年額の保険料については変わらないんですけども、126ページの下の方の右囲みのところに第9段階10,387円と当初、月額保険料記載をしておりましたが、四捨五入の間違いの関係で10,388円が正しい値でしたのでこちらに修正をさせていただきました。なお、年額の保険料、皆様からいただく保険料につきましては127ページがございます、124,650円に変更はございませんのでこちらへの影響はございません。以上が数値の修正になりますので差し替えをさせていただきました。原案につきましては、説明は以上になります。

続きまして、本日配付をさせていただきました、計画概要版の案についてご説明をさせていただきます。概要版につきましては本冊子については大変ボリュームが多くなりますので、この概要版を用いて関係者の皆様、市民の皆様に随時啓発、説明をしていくものとしたと考えております。「ちいきぐるみの支え合いづくり」を基本理念としておりますので表紙にはそのタイトルを大きく記載をしております。めくっていただいて1ページ目をご覧ください。

1ページ目には高知市民の健康福祉の現状と将来推計について記載をさせていただきます。現在、今回の計画につきましては2025年、2040年を見据えて計画を策定をしておりますので、令和22年までの推計値を記載をしております。なお3の認知症高齢者の将来推計につきましては認知症施策の推進大綱もできまして、認知症の取組が非常に重要かと思いま

すので、今回は新たに将来推計を掲載をさせていただきました。なお高齢者の人口、高齢化率等でグラフの修正がありますので差し替えのほう確認をしていただけたらと思います。

2ページ目には計画の施策の方向性ということで地域共生社会の実現に向けた取組の概要を記載しております。

次のページの3ページ目には本計画の基本理念、そして4ページ目に基本目標と各基本目標における施策の方向性について記載をさせていただきます。

5ページ・6ページ目を見ていただきますと、こちらの2ページで第8期介護保険事業計画に関する施設整備計画や、第8期の介護保険料について記載をしております。こういった内容で概要版を作成して市民の皆様などに広くお知らせをしていきたいと考えております。

なお、まだ案ですので最終校正をいたしまして完成をさせていただきます。説明は以上になります。

(安田会長)

次第の(3)までですね、概要版の内容の説明も含めて事務局からの説明がありましたけれども、原案と概要版の内容についてすでにこれまでの委員会でご審議を頂いているものが原案になっておりますが、概要版のほうは今日初めてご覧いただきますけれども、何かご意見ございましたらご自由にご発言ください。よろしいですか。村岡委員お願いします。

(村岡委員)

社協の村岡です。後で言おうかなと思っていたんですが、説明がありましたので言わせていただきますが、原案の16ページのあたりの数値の記載の仕方なんですが、16ページはちょうど、中段の配食事業者における配食注文時のアセスメントについては例えば第7期実績については9月末時点で棒線ということになっているんですが、その下の2-2認知症の人の精神科入院数については単なる棒線ということで、9月末時点でデータが取れないのであれば記載の仕方は統一をしたらいいんじゃないかというふうに思いますし、ちょっと飛びまして21ページの2つめの表のケアプラン点検の実施で、第7期目標でもともと各年度80%を目標にするという数字を掲げておきながら、第7期実績で推移が出てないということになっていますので、ちょっとここはデータが取れないのか、そもそも第7期の目標値設定がおかしかったのか、ということが問われるのかなと思いますので、書きぶりの統一とケアプラン点検のところについてはどういう内容かっていうのを教えていただきたいと思います。

(安田会長)

事務局担当の方ご説明をお願いします。

(高齢者支援課 田部主任)

高齢者支援課の田部といいます。まず私のほうからケアプラン点検の実績のところは横棒になっているところの説明をさせていただきます。ヒアリングを実施したケアプラン点検での指摘事項改善率っていうのが指標になっているんですけども、ヒアリングを実施するケアプランのほうで5事例ぐらいを市内の中から選別して実施するんですけども、改善率っていうのがパーセンテージでなかなか表せないというか、いくつかの指摘事項の中でいくつかは改善していただいておりますけれども、一つ二つはまだ取り組めてないというような未実施のところがあったりして5事例のうち100%とは言いがたいけど80%とも言いがたいところなかなか数で表せないということもあって、改善率っていう数を書けていないのが現状です。8期のほうでも同じようにはしていますけれども、今後ケアプラン点検での指摘事項の改善率の出し方っていうのを少し考えて指摘事項の項目を何項目のうち何項目改善したかということでパーセンテージで表せるという形でまた検討していきたいと思っています。

(高齢者支援課 石塚課長)

高齢者支援課石塚です。配食事業における配食注文時のアセスメントにつきましても、すみませんここまでが配食事業者のほうで十分な調査というのがいっておりませんので、すみません未実施という形でご公表になってしまっております。

(村岡委員)

未実施ということであれば、ただの棒線でもいいんじゃないかなと思っています。16ページの配食事業のところもそうですし19ページのケアマネジメント力の向上のところもそうですし、もう1件あったと思うんですが、22ページのその3件ぐらい。できないのであればそのまま流す時点で棒線というよりもただの棒線にしておいたほうがすっきりするのではないかと思いますので、よろしくお願いします。

(安田会長)

その他いかがでしょうか。ウェブで参加されている方からも挙手はないですか。よろしいですかね。それでは最後にご発言をいただく時間を取っておりますので、もしお気づきのことで今発言し忘れたことにお気づきになったらまた順次ご発言いただく時にどうぞ申し出てください。

それでは次がですね、これで事務局からの説明全部終わったんですね。そうしましたら残り30分くらいの時間なんですけど、第8期のこの計画の原案が今日で固まりまして概要版のほうはまた校正が入るそうですが、このようなイメージで市民にお配りするということになりましたけれども、原案のほうの細かい表記等についてはもう一度事務局のほうで見直して、てにをはの修正とかが入ったりすることがあるようですし、今村岡委員のご指摘があったようなところは記載を統一していただけたらと思いますが、これから委員の方に順番に一人あまり時間が長くなると19:30過ぎてしまうので1分程度を目安に、この原案、概要版を含めて第8期についてご要望とかご意見を伺うように事務局から言われておりますので、順番にこれからマイクを回させていただきます。私の隣の村岡委員から順番に回していただきますが、村岡委員はご指摘になりましたけれども今何かあれば1分ぐらいを目安に。

(村岡委員)

事務局の皆さんの計画づくり本当にご苦労様でした。第7期から8期にかけて「ちいきぐるみの支え合いづくり」ということを目標に掲げて計画を進めていくわけですけど、コロナの中でなかなかうまくできないところもあるかと思いますが「ちいきぐるみの支え合いづくり」ということの中では特に人や人が繋がっていくこともそうですし、同時に地域にある社会資源のいろんな団体だとか組織が繋がっていく。そういう関係性が構築されるということが非常に重要ではないかなと思いますので、第8期の中で地域活動推進計画の取組を合わせて社協としてもそういう取組を進めていきたいというふうには思っておりますが、さらに取組の強化をしてこの計画が推進をされますようにご期待いたしまして、発言とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(安田会長)

マイクを順番に回していただいて。

(福田委員)

老人福祉施設のほうの副会長の福田と申します。この度たくさんの方の計画の議論をありがとうございました。今、特別養護老人ホームであったりとか、グループホームであったり、とても重度化が進んでいたりとか認知症の方も増えてきております。そういう中で今回は安心して暮らし続けられるということで認知症施策のところもたくさん進んでいっていると思うんですけども、今回パブリック・コメントでうちの相談員のほうが出させていただいた

件もあるんですけども特養とか併設しているグループホームがありまして、グループホームのほうもとても重度化していたりすることで、特養と併設のグループホームが一体化して併設でいろんなケアができたらっていうことも出させていただいて申し添えておりました。それは第9期次の段階でいろんなご支援とかいただいたりとかアドバイスいただいたりとかでできたらいなと思っておりますので、認知症の方が予防できて本当に高知市の中で穏やかに過ごせるっていうこと私も一緒にサポーター養成講座のほうもしておりますので、そういったことでもまた取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(高岡委員)

高知市居宅介護支援事業所協議会の高岡です。事務局の皆様計画の作成ご苦労様でした。委員の皆様もご苦労様でした。私のほうからは前回の会でも意見が出ていたんですけども、特に計画の内容っていうところではないですが「ちいきぐるみの支え合いづくり」というところで、地域包括支援センターの機能強化というところが謳われて再編されたんですが、現場の医療機関であるとか介護保険事業所のほうはなかなか再編の内容はまだ知らされてなくて、4月以降の体制について早急に説明が必要かなという状況にはあるかなと思います。鴨田地区の再編がまだはっきりしてないままあって、多分お知らせできてない部分があると思うんですが、来年度に向けてまた地域のほうにも計画のほうと再編の内容もお伝えしていただければなどは感じております。よろしくお願いいたします。

(三宮委員)

高知市老人クラブ連合会の三宮でございます。お世話になります。私どもの市老連の活動もこの住み慣れた地域に安心をして暮らしていける生活環境づくりということを運動のテーマとしてやっておるわけですが、この介護保険とか保険に関することは私自身が素人でございます、一緒に勉強させてもらえたら地域担当に活かしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(藤田委員)

公募委員の藤田みどりと申します。私は20年以上特養のほうで勤めていたので在宅のことはあまり知りませんでした。定年退職してからは認知症に関わる仕事をしているのですが、自宅にいる時間が長くなると在宅にはこんなに困っていらっしゃる方が多いのかというのを実感しております。職場で研修も受けさせてもらっていますが、他人の力を借りての自立化っていう言葉がすごく響いています。少し手伝ってもらうことで在宅で暮らせることがたくさんあると思います。

自宅にいると、近所の独居の方が「あっ退院してきたんだ」と気付くことがあります。ケアマネさんや様々な支援の方には、個人情報があるのはよくわかりますが、本人の了解も得て、在宅の方へ帰ってきたので、少し気にかけていてくれませんか等の隣近所への声掛けも必要かと思っております。その方に関わって社会資源で働いているスタッフこそが積極的に地域の方々と関わり、本人が言えない分を代弁できる関係性を作ることが一番いいのではと思っています。フォーマルなサービスだけでは限界があります。

どうしてそんなふうに感じたかという、自宅の前のアパートで亡くなっていたのに一週間気付かなかったことがあり、それは痛感しています。民生委員、地区の班長、隣近所の人達などの関わりも大事と思っています。

(松木委員)

公募委員の松木孝明と申します。皆さん日常業務の大変な中、こういう計画をたてられていろいろ考えられているのは大変だと思うんですけども、私だけだと思うんですが言葉自体もなかなか福祉関係の言葉はいろいろあって難しいところへもっていろいろな数字とかを見ささしていただいて、ところが他の委員さんはパッと専門的なところもございましてし

ようし、数字なんかも見るのも慣れてるんだと思うがですけども、私はこれが分からなくて、資料が来るのが文句じゃないですけどもう少しちょっと早くしていただければという気がします。今回同じようなことがもしあるのであればもう少し事前に資料を送っていただければ。よろしくをお願いします。

(山崎委員)

公募委員の山崎百合子と申します。グループホームのほうで管理者をずっとしています関係で、グループホームに関連したことしかあまり知識はないんですけども、事務局の皆様本当にお忙しい中いろいろとありがとうございます。今回住み慣れた地域で暮らし続けるとか安心してということで、うちのグループホームとしても7年ぐらい認知症カフェをやり続けたり、百歳体操とかもやっていたんですが、このコロナの関係で特に施設の中でやっているもので一切できなくなってまだ新たに始められない状態なんですけど、それまでに一生懸命築き上げてきた地域の方々の繋がりとかボランティアの方との繋がりが本当この1年以上すっかり途切れてしまって、百歳体操にいられた地域の方もあんなにお元気だったのにすごく鬱みたいになっている。「まだ百歳体操始められませんか」みたいなお話もいただいて今大変しんどい思いをしているような状態です。いつまでこういうことが続くかわからないので、是非地域の為にグループホームとしても何が出来るかを模索しているんですけど、今後なんかご意見とかありましたら是非お力をお貸しいただきたいと思います。よろしくをお願いします。

(植田一穂委員)

高知市医師会の植田です。超高齢の先進県である高知県のこの計画が充実して全国のモデルになることを期待しています。私自身は外来は糖尿病内科で在宅もしているわけですけども、コロナによって一番感じるのは、病院に一度入院していても看取りを面会も家族ができないので家に帰ってくる人が増えて、あるいは施設、在宅で看取ることが急に増えたように思います。その時にやはりケアマネさんが今人数もかなり少なくなっているんじゃないかなって思ってます。ケアマネにやはりかなりいろいろこのパブリック・コメントにありましたけれども交通手段とかいろんなニーズを拾い上げる研修をして、多職種、医者とかホームメディカルとも随時電話でもいいから密に連絡を取って、素早く在宅体制を築くようになればなと思っています。よろしくをお願いします。

(高橋委員)

歯科医師会の高橋です。計画案の作成のほうお疲れさまでした。歯科医師会としましてはかかりつけ歯科医を皆さん持っていただいて少しでも健康管理のお助けができればいいと思いますし、あるいは歯科医師会を通じての往診とかも対応できると思いますのでそういうので健康管理も達成ができればと考えています。以上です。

(中屋委員)

身体障害者連合会の中屋です。一人一人のサービスっていうのはすごくあれもこれもっていうふうに充実してきたのかなとは思いますが、ここの計画案の資料の中に8050問題っていうのがあるんですけど、そういった家族で個々に高齢者だとか障害者とかもって複合的に大変な家庭ってあると思うんです。一人の人のサービスっていうのは意外とすんなり相談口があったりするんですけど、家庭全体を把握してくれるっていうのはなかなか無いような気がするんですよね。生活的に苦しければケースワーカーの方がいらっしゃると思うんですけど、そうでもなくてしっかりした世帯で何人も障害者だったり高齢者だったりっていうのを抱えているっていう実態もあるように聞くので、それを実際困ったときにここにも相談してここにも相談してっていうふうに。多分僕が想定するのは障害を持ったお子さんがいらっしゃるって障害のサービスを受けてらっしゃる、だんだん親御さんも高齢者になって介護保険



が必要になるっていうときに、じゃあ果たして1か所で済んだらいいことをあっちも相談してこっちも相談してっていうふうになるんじゃないかなっていうふうに思うので、その辺を家庭的なサービス、家庭を包括的についでいうのはおかしいかもしれないですけど家庭全体を見てくれるマネジメントっていうのをもう少しはっきり分かるような形にしたい、していただければありがたいかなというふうに思います。計画も8期になるので四半世紀近くなってきているので、だんだん成長しているとは思っているのでそうしていただくと本当に困らない社会になればいいなというふうに思います。

(新谷委員)

高知県栄養士会の新谷でございます。高知市は栄養改善分野への取組をいっそう強化するというお話をお聞きしておりました。今回、体操会場における低栄養予防活動と高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施ということで、最終的には地域住民主体の取組となるような仕組みを持つという計画を構築していただいております。当会も高齢者の栄養・食の自立支援事業の中で、高齢者のフレイル予防・認知症予防に関する食講座も計画しておりますので、お役に立てることがございましたらご協力させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。以上です。

(植田隆委員)

高知市薬剤師会の植田です。8期の計画作成どうもお疲れ様です。薬剤師会といたしまして、現在ちょうど平成28年頃から在宅でのお薬の服薬支援というのを強化してまいりました。

来年度以降の話にはなりますけれども現在ICTを導入した多職種連携による服薬支援体制というので高知あんしんネットっていうのがあるんですが、そちらのほうの活用の推進、それからあつかふれあいセンター等でのテレビ電話とかそういったものを利用して出前講座とか個別のお薬相談会とかの実施をできたらいいなというふうな計画を今しております。これからも在宅での薬剤師の活用というか、それにお応えできるように会としても取り組んでいきますのでどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

(宮本委員)

理学療法士会の宮本でございます。この会議の7期ぐらいから参加させていただきまして、いろいろ思うところもあるんですけども、少しお話させてもらいますと一つはこういった計画もかなり国の施策、介護保険等なんかはそういった縛りの中でやっていっているんでなかなか市独自でというものは難しいところがあるんだろうと思います。あるいはこの資料原案見ても施設整備なんかは民間事業所が順次進めていっているわけで、なかなかその目標値等も市が定めてそれを整備していくというわけでは決してない感じがしましても、なかなか目標値、適切なあり方というのはなかなか難しいところかなというふうにも思っているんです。そういった意味でこういった議論の中でも市の単独事業というか、市の中でフレキシブルに対応できるものは一体どこなのか。それをどういうふうに進めていくのかという視点も結構議論としては大事なんじゃないかなと。国へ向けて個々で話をしてもなかなかあっていうところもありますので市の出来るところがどこかということクリアにしたほうが進めやすいのかなと思ったりもしております。ただなかなかお金もないだろうから今日お集まりの委員の方とかにはNPOだとかいろんなところのソフト面が良し悪しを定めていくんだろうというふうに感じております。

その中で我々のリハビリテーションの専門職もできる範囲での協力をしながら、そのソフト面でのサポートということにきつくなっていくんだろうというふうに思いますんで、是非活用していただいて今後も、活用していただいているんだろうとは思いますが、もっといろんな横のつながりを活用していただいてお金に替わる繋がりをしていけたらなというふうにも感じております。これからもよろしくお願いいたします。

(藤原委員)

シルバー人材センターの藤原と申します。まず私は要介護2と5の両親の面倒を見ているんですが、このサービスがいろいろ使わせていただいてこの計画、今までの計画の中であるサービスを本当に助けていただいているというふうに私は実感しています。

第1期、それから済んで6期7期8期と期が進むにつれて行政の方の苦勞といえますか、いろんな仕組みがだいたい進化してきているというふうに私は思っています。そこらへんが大変な所だとは思いますが、いろんな地域の方とそういうふうにつけていっているという努力が分かります。

そしてこの期が進むにつれそして仕組みが複雑になるにつれて、言葉もいろんな専門的な言葉とか仕組みとかを説明するときには市民の方が見てもなるべく分かりやすいなるべく専門用語をかみ砕いたような表現をすればこの計画ももう少し市民に近づくと。ただ作っただけではいけないので、皆がこれを見てわかる、理解する、というところも一つの大きな視点だと思うのでこの計画の中でどこがどうというわけではないんですが、そういう視点をもって今後の計画に活かしていただきたいというふうに思います。以上です。

(小笠原委員)

認知症の人と家族の会の小笠原です。認知症の人は今、今回のコロナで面会ができないところまで結構落ちていきまして、次に会いに行くとか電話でお話ししても誰だかわからないとか、もう最後には奥さんの顔さえ分からなくなって行って、病院で面会もできずによくよう危篤の中でも意識もない状態で会えたというようなことが最近起こってきました、大変残念に思っています。

それと在宅とか施設利用している家族さんも別ですけども、やっぱりケアマネジャーさんで何をしてくれているのか分からないという方が多くなりまして、ご相談をしたくてもどこに相談すればいいのか、グループホームとか小規模とかの施設の場合はどなたに「ケアマネさんてグループホームにいますか」って最近聞かれるご家族さんもおいでますので、是非利用契約した時にケアマネジャーさんはどういうふうな仕事をして、ご家族さんはどういうふうに支えてくださるのかをご家族さんに説明していただければ大変ありがたいと思います。

それと先ほどの「ちいきぐるみの支え合いづくり」というのが皆さん支えてくださることは大変ありがたいと思います。だけど認知症の人はやっぱり人見知りっていうか、顔なじみにならないとなかなか相手さんとお話もできないというような状況もあります。やはり感情も意思も心もやっぱり生きておりますので、是非お声がけをしてくださる時はそれなりにサポーター養成講座なんかではちゃんとこういうふうに声がけしましょう、ということもしていただきますけども、やはり顔なじみになっていただいてからっていうことをお願いしたいと思いますし、先ほどのケアマネジャーさんに何を相談ができるのかっていうこともご家族さん、介護のこと全般にご相談をされて、ケアマネさんのほうから他の支援センターさんのほうとか市のほうの生活支援をお願いしてもらえば大変助かりますけども、中に本当にケアマネジャーさんにはいっぱい知識をもって私たちが電話なんかで相談受けたときはケアマネさんはいっぱい引き出しを持っておいでますのでお尋ねくださいっていいと思いますけども、その情報がありませんので、尋ねることもこんなこと言っていいのかしらっていうようなことが最近多々ありまして、また人手不足なのか施設がだんだん利用の人数が土曜日休んでくださいとか言われて、今次の施設をお試しに見に行くのに困っているというようなご相談を最近は多くなってきました。この保健福祉計画のなかに、本当にありがたいと思いますけれども、実際に今困っている現状を把握していただきたいと思います。よろしく申し上げます。

(中本委員)

どうもこんばんは、遅れてまいりまして失礼いたしました。高知県医療ソーシャルワーカー協会の中本でございます。遅れてきて頭の中が整理がついておりませんが、いくつか感想といいますか一言述べさせていただきます。

まず一つ、計画原案が作成されましたこと皆様お疲れさまでございました。計画が策定されたということで4月以降これからということになるわけですけれども、日頃から思っていることなんですが、医療チームのなかでもそうです、ケアチームの中でもそうなんですが、高知市のぜひ市役所の皆様方もこういう計画を作るというところで一つのチームになって動いたかと思っております。4月以降の実際のこれが動き出したと、具現化に向けてぜひ日頃からいろんな体制がつくられていると思っているんですが、私も伺っているんですけども、なおのこと風通しの良い、横ぐしの本当に入った血の通った横の並びの市役所の窓口対応をしていただくことに大変期待をしております。いつもお世話になっております。

というところと、私勤務しておりますのは老人保健施設なんですけれども、老人保健施設の会長を長くさせていただいて県の老人保健施設協会のほうの役員も長くさせていただいているんですが、今回の計画とここ数年引き続いてですが、高知市のほうに老人保健施設が増床になって医療ニーズがあったりとか、回復期のリハビリニーズがあるような方々の在宅支援が実施できる施設ができたらいいなというふうに思っていたんです。ところがなかなか老健の協議会の中でも開設している理事長、医師、先生方とも話をしたんですが、なかなか実施に叶わないというところの話を伺いました。新しい事業を始めるにあたってどこでもよく耳にするんですが、やはり人材不足っていうところがありまして、今日この会に来る前、午後もそうだったんですが、高知県内の地域によっては人材が不足して施設運営している途中にも関わらず、人材が離職することによって施設運営、ベッドの利用率を下げないといけない、休所をさせないといけないとかっていうところもある地域もございます。っていうところから地域共生社会という大きい目で見るときに地域にいろんなインフォーマルなサービスだったりとか住民の方々の力でもちろん期待するところなんですけれども、さらにこれが直接ケアに関わる人材をどう育てていっていかって今この小学生であったりとか中学生であったり高校生であったりって若い世代といいますか、就学期の子どもたちにぜひこういう計画もあってこういう計画を実施するためには貴重な人材が必要だということのメッセージなんかもぜひ高知市のほうから何らかの形で、教育委員会を通じてでも結構ですし、メッセージを発信していただけたらと思っています。

それと長くなるんですが、医療ソーシャルワーカーの団体で取り組んでいるんですけども、身寄りのない方、身寄りのない状態に準ずるような方々がこれからの高知市ますます増えてくるように思っております。そういう方々の本当に安心できる、自分の意思をきちんと伝える人がいて、それを生活の中でプラスに転化していけるようないろんな必要なサービスだったりとか、相談機関っていうもの専門分化して高知市のほうでもできたらいいなというふうに思っております。また、いろんな形でソーシャルワーカーの団体としても協力できることがありましたら社会福祉士会さんであったりとか精神保健福祉協会なんかとも一緒に力を合わせて、高知市の身寄りのない方の支援っていうものにも関わりを持たせていただけたらと思っています。

それと、もう一点ケアマネジャーさんの話も出ていましたが、ご縁あってケアマネジャーさんの養成の研修会に関わらせていただいております。ここに参加しておられます高岡さんもずっと担当で関わってらっしゃるんですけども、その中でこれはとっても良いお話だと思うんですけども、入退院支援を参考にしているんですが、そこに受講している専門研修っていう講座があって約3班に分かれて300人ぐらいの県内のケアマネジャーが集まります。その中でも高知市内のケアマネジャーさんにお話伺っていると、高知市が県内のさっき言った入退院支援のシステム作られましたですね。そこを通じていろんな研修会の受講を通じて、医療と介護とか、医療機関と地域っていう繋がりについては高知市のケアマネジャーさんが圧倒的に理解があるのかなというふうに感じております。そこにつきましても入

退院支援のいろんな仕組みであったりとか、検証が引き続いていくかと思しますので益々これから病院も法律の改正でいろんな様変わりしてくるんかと思うんですけども、さらに内容のあるといえますか、有機的な、地域でいろんな繋がりがあっていうところも体制づくり進めて続けていただけたらと思っています。

以上、とりとめの話になったかと思うんですが、この計画に関わらせていただきましたので感想とさせていただきます。どうも本当にお世話になりました。ありがとうございます。

(安田会長)

ウェブでご参加の川田さんと矢野さんから一言ずつコメントいただければと思いますが、まず矢野さんのほうが今マイクがオンになってますので、矢野さんお願いします。

(矢野委員)

どうもすみません。本日は本会議に出向くことができず申し訳ないです。高知県作業療法士会の矢野です。よろしくお願いします。まずは第8期の計画作成に委員の皆さん事務局の皆さん本当にお疲れさまでした。ありがとうございます。私も前回ずっと参加をさせていただいて、ずっと思っている感想なんですけれども、やはり高知市これから高齢化社会迎えるにあたって住み慣れた地域で暮らしていく方たちがやはり大事なことというのは、基本理念でもある「ちいきぐるみの支え合いづくり」とか、やっぱり一人では生活できないということで社会資源を使いながら周りの方たちの力を借りながら生活していくことすごく大事ななど改めて痛感したところです。

一つ思うのが、今回施策とかいろいろ具体的に支援内容とか推進していくことが出ていますけれども、切に思うのが支援を待っている方とか市民の方たちに一人でも多くこの支援とか表記された内容が行き届くこととか、その支援されているご家族、周りの方たちにもこれが認知されるのもすごく大事ななど思っております。私たちも高知県作業療法士会のほうではいろんな形で人材育成や地域に向けていろいろな活動をしています。今回こういうふうな会議に参加していろいろな話を聞いている中で、私たち作業療法士会でも何かこの施策のなかで関わることとかたくさんあるかなというふうな感じを受けました。また士会に持ち帰りながらこの話をして、少しでもお役に立てるようなこととかご協力できるようなことがあればまたお話をさせていただけたらと思いますし、何かこれをご協力できる場所があればまた士会のほうにも要請という形で声をかけていただければと思っています。以上です。よろしくお願いします。

(安田会長)

矢野さんありがとうございました。川田さんコメントお願いいたします。ご意見でもよろしいですが、お願いします。

(川田委員)

聞こえますか？

(安田会長)

大丈夫です、聞こえています。

(川田委員)

いろいろ私もこの資料を見て大変だなと思います、高知市の方本当に。私が思うのはヘルパーからの視点なんですけども、地域共生のイメージ図とかありますけど、これは計画の3年で、できたらすごく良いなと思います。でも日々ケアにあたっている私たちにとってはまだ知らない部分もありますし、現場しか私たちは知らないの、また発言いろいろ意見あ

んまり参考にならないかもしれませんが、できることがあったらヘルパー協会として協力したいと思っています。以上です。

ごめんなさい、もう一つ。概要っていうのもあったと思うんですけど当日配付資料の。それはどこに置いてある、どこに置くんですか。

(安田会長)

事務局のほうお願いします。

(健康福祉部 川村副部長)

各地域14センターにございます地域包括支援センター、あと福祉部門など、いわゆる市民の皆さんがおいでるところに置くようにしておりますので、またご活用いただけたらと思います。

(川田委員)

分かりました。

(安田会長)

よろしいですか、川田さん。よろしいですかね、ありがとうございます。皆様に積極的にご発言をいただきましてちょうど予定の時間をちょっと過ぎたところになりました。今各職業団体を背景としたご発言とか、公募の市民の方の視点とかやはり直接お声を聴かないと気づかないようなところのご指摘もたくさんあったと思います。これ録音していますので、ぜひ各委員からご指摘があったところをもう一度事務局のほう整理していただいて、横串をさすといいますか、課の中で留めるんじゃなくて関係する課とも共有していただいて、第8期の計画それから第9期につなげるための議論に第8期の計画の進捗管理とか第9期に繋げるための市独自の取組の方向性を決めるような材料にしていただけたらと思います。

私も何か一言言わないといけないかと思いますが、あまり皆様から出てないところなんです。この原案の14ページ・15ページの第7期計画の総括、あと16ページ・17ページあたりもそうですが、この14ページから17ページあたりが達成済み、目標が達成していたら黒い星が付くというところですが、あまり黒い星が付いてない項目が多いので、これはちょっと目標が高すぎたのかもしれませんが、計画期間の満期の数値じゃないところもあるのかもしれませんが、第8期の計画についてもやはり目標を立てられて進捗管理をされると思いますが、第8期が終わった時にやっぱり黒い星が付かないままで終わってしまうという項目が多くなるように、目標というのはやっぱり低すぎてもいけませんけど高すぎても何の目標か分からないので、目標の適正な水準を事務局で検討していただけたらと思います。市民の参加が必要なところも15ページあたりの実績値というのをやっぱり目標になかなか届いてないというところもありますので、市民にいかにこの計画の趣旨を理解していただいて市民自身に動いていただけるような目標にできるかを考えていただきたいと思いますし、14ページにあるような自立期間を目標値には達してないようなところも、達成可能な目標をもう一度検討していただけたらと思います。それが私からの意見というかコメントですね。

皆様に活発にご意見をいただいたことを踏まえて来年度以降第8期計画の進捗管理をしながらまた皆様にご参加をいただく会が続いていくんですよ、そうですね。またご協力をよろしくお願いたします。

それでは今日の協議会の議論はここまでとさせていただきます。コロナ禍の会議ですので1時間程度で終えたいということですので時間としてはこのあたりがちょうどいいところはないかと思ます。あと事務局のほうから説明、今後の事務連絡ですか、お願いします。

(司会：高齢者支援課 松村課長補佐)

委員の皆様、本日は貴重なご意見をありがとうございました。また円滑な進行にご協力いただきましてありがとうございました。

それでは事務局から事務連絡をいたします。今回のパブリック・コメントの結果は後日、本市のホームページに掲載をいたします。また本日ご審議いただいた計画内容につきましては事務局で最終チェックを行った後、3月8日月曜日午後1時、本庁舎4階特別応接室にて推進協議会から市長への報告という形を予定しております。本来であれば委員の皆様にもご参加いただくとお考えですが、新型コロナウイルス感染防止の観点から今回は推進協議会を代表いたしまして安田会長様、村岡副会長様に報告にご出席いただく予定にしております。

今年度の推進協議会は今回が最終となります。また来年度は新計画の進行管理ということで年2回の開催を予定しておりますので、日程等が決まりましたらご案内させていただきます。

それでは閉会にあたりまして、健康福祉部副部長川村からご挨拶を申し上げます。

(健康福祉部 川村副部長)

委員の皆様、本日も貴重なご意見、特に委員の皆様からは、委員長もおっしゃったように地域の実状ですとか施策へのヒントを大変頂戴したというふうに考えております。現在世界もそうですけど高知市もこういったコロナ禍におきまして、その中でも審議を重ねていただいたことに感謝を申し上げます。

特に皆様方が気にされています、コロナウイルスワクチンの現状ですけどご存知の方も多いかと思うんですが、現在4月5日に恐らく高知市に1,000回分。高齢者の方約96,000人ぐらいおいでますけど、1,000回分2回接種が必要ですので500人分。その翌週12日の週19日の週にそれぞれ5,000回分。2,500人ずつの予定となっております。本来ですと3月の下旬、22日にはクーポンを発送いたしまして、4月ぐらいからウェブ予約によるワクチン予約というのを始める予定でしたけれども、到底その10万人弱の高齢者の方にシステムを稼働できる状況にはございません。本市が現在考えておりますのは、まずはディープフリーザーが置かれています、基本接種していただく医療機関の方機関の入院患者の方、あるいは抽選というわけにもいきませんので、場合によっては高齢者施設に入所されている方に例えば2,500人ずつとかいう形で打つというのも可能性としては想定しておるところですのでまた皆様方には適宜情報提供させていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

今回、新しい計画のほう皆様のご審議によりまして市長にも報告ができるようになりましたこと大変感謝しておりますが、特に様々なご意見いただきました今回の計画につきましては、やはり再編いたしました地域包括支援センターのほうは今後重要な役割を担ってまいりますので、特によくわからないとか知らないという意見を数々いただきましたので、今後周知に努めてまいりたいと思っております。例えば入退院手続きルールの中でそういったことをまた改めて説明していただくとかいうことも考えていきたいと思っております。今後、だいたい司会の方とか委員長も言われたので繰り返しになりますけど、今回の計画につきましてはまた今後3年間進捗管理を行いながら、委員の皆様と共にちいきぐるみで支え合える高知市を目指していきたいと考えております。今後とも現行の施策へのご協力ご理解のほどよろしく願いいたします。最後になりますが安田会長、村岡副会長はじめ委員の皆様方には活発なご議論をいただきましたこと重ねて感謝を申し上げます。どうもありがとうございました。

(司会：高齢者支援課 松村課長補佐)

それでは以上をもちまして、令和2年度第5回高知市高齢者保健福祉計画推進協議会を閉会いたします。委員の皆様ありがとうございました。